

福音新聞

Good
News
NO.3



発行：東海東キリスト教会 <https://www.tsukuno.com/hamamatsu/>



イエスは彼に言われた。
『あなたはわたしを見たから信じたのですか。
見ないで信じる人たちは幸いです。』 (聖書)

弟子トマスの証言

紀元30年4月、イエス・キリストは十字架上で死なれ、墓に葬られました。しかし、死後三日目によみがえられ、弟子たちが集まっていたところに姿を現されました。そのときイエス様は、両手に打たれた釘の跡、ローマ兵に槍で脇腹を刺された跡を示されました。弟子たちはそれを見て、イエス様のよみがえりを確信し、喜びました。そこに弟子のトマスはいませんでした。弟子たちはトマスに「私たちは主を見た」(聖書)と次々に証言しましたが、彼は「私は、その手に釘の跡を見て、釘の跡に指を入れ、その脇腹に手を入れてみなければ、決して信じません。」(聖書)と告

げ、頑なにイエス様のよみがえりを信じようとしませんでした。ところがその一週間後、他の弟子たちと共にいたトマスの前にイエス様が姿を現され、「あなたの指をここに当てて、わたしの手を見なさい。手を伸ばして、わたしの脇腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」(聖書)と告げられました。トマスは「私の主、私の神よ。」(聖書)とイエス様に告げました。その後イエス・キリストは40日間、弟子たちに姿を現され、天へ上って行かれました。

その後、トマスはよみがえられた神の御子イエス・キリス



トを宣べ伝えるためにインドまで行き、そこで異教徒の迫害によって殉教の死を遂げたと言われている。当初はイエス様のよみがえりを疑っていたトマスでしたが、確かなものであったのでその事実を命を懸けることが出来たのです。

殉教者たちの証言

多くの人は、イエス・キリストのよみがえりは弟子たちの創作ではないかと考えています。しかし事実、弟子たちは様々な場所に行き、イエス・キリストのよみがえりを伝えました。そのために、殉教の死に至らせられた者たちが多くいます。以下にその例をいくつか挙げます。

【ペテロ】ローマにおいて逆さにした十字架上で殉教

【ルカ】ギリシャの異教徒祭司によってオリーブの木に吊るされて殉教

【パウロ】ローマの郊外で斬首刑により殉教

【マタイ】ヒエラポリスにおいて刀で斬られ、殉教

【シモン】ペルシャにおいて鋸で二つに斬られ、殉教

【マルコ】アレキサンドリアで体を引きずられ、手足をバラバラにされて殉教

彼らが虚偽の事実のために命を懸けたとは到底考えられません。またイエス・キリストがよみがえられて約25年後、パウロがクリスチャンへ宛てた手紙に「その後、キリストは五百人以上の兄弟たちに同時に現れました。その中にはすでに眠った人も何人かいますが、大多数は今なお生き残っています。」(聖書)と書かれています。

す。当時、この手紙に書かれたことが事実かどうかを、目撃者のところに行き、確かめることが出来たのです。この手紙が聖書の一部として残り続けているところこそが、その真実性を明らかにしていると言えます。

聖書の証言

では何故、弟子たちはよみがえられたイエス・キリストを、様々な場所に行き、命を懸けて宣べ伝えなければならなかったのでしょうか？それは、この御方が全人類の救い主だからです。

「この方以外には、だれによっても救いはありません。天の下でこの御名のほかに、私たちが救われるべき名は人間に与えられていないからです。」（聖書）

人は罪人である故に、聖であり、

なる真の神によってさばきを受けなければなりません。

「神について知りうることは、彼らの間で明らかです。神が彼らに明らかにされたのです。神の、目に見えない性質、すなわち神の永遠の力と神性は、世界が創造されたときから被造物を通して知られ、はっきりと認められるので、彼らに弁解の余地はありません。」（聖書）

人は、神の創造物である宇宙や地球、あらゆる動植物、人間の体の存在を知っていないながら全く神を無視しています。

「彼らは神を知っていないが、神を神としてあがめず、感謝もせず、かえってその思いはむなしくなり、その鈍い心は暗くなったのです。彼らは、自分たちは知者であると主張しながら愚かになり、朽ちない神の

栄光を、朽ちる人間や、鳥、獣、這うものに似たかたちと替えてしまいました。」（聖書）

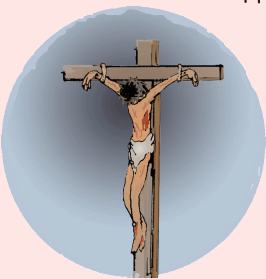
それ故、罪人は神によってさばかれ、死後、永遠に続く火の池に投げ込まなければならないません。

「人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっている」

「それから、死とよみは火の池に投げ込まれた。これが、すなわち火の池が、第二の死である。いのちの書に記されていない者はみな、火の池に投げ込まれた。」（聖書）

滅びに向かっている私たち罪人を愛し、憐れまれた神は、地獄のさばきから救うために、神の御子イエス・

キリストを人としてこの世に遣わされたのです。



イエス・キリストについての証言

イエス・キリストは処女マリアを通し、人としてこの世にご誕生されました。イエス様の目撃者たちは、この御方に罪がないことを証言しています。

【ペテロ】「キリストは罪を犯したことがなく、その口には欺きもなかった。」

【ヨハネ】「この方のうちに罪はありません。」

【ローマの百人隊長】「本当にこの方は正しい人であった」

その証言は重要です。何故なら、罪人には他人を救う資格はなく、その人自身がさばかれなければならぬからです。イエス様は私たちの身代わりとなり、すべての罪を

赦すために十字架上でさばきを受け、死なれました。そして死後三日目に、葬られた墓の中よりよみがえられました。誰でも、イエス・キリストを自分の救い主として信じ受け入れるなら、死後のさばきを受けることなく、永遠の天の御国に入れていただけるのです。イエス様はトマスに「**信じない者ではなく、信じる者になりなさい。**」と告げられました。どうか、イエス様のよみがえりという事実に基づき、信じる方となられますように、お勧めいたします。

「これらのことが書かれたのは、イエスが神の子キリストであることを、あなたがたが信じるためであり、また信じて、イエスの名によつていのちを得るためである。」(聖書)

聖書講演会のお知らせ

真の神の言葉である聖書から、すべての人に必要な福音を分かりやすくお伝えいたします。日時などは、同封の案内をご覧ください。



教会ホームページ
はこちらからどうぞ

東海東キリスト教会

牧師 畑川 洋一郎
副牧師 榊原 康博

〒430-0852 浜松市中区領家3丁目22-2 TEL (053) 548-4812

※ 当教会は、エホバの証人（ものみの塔）、統一協会（原理研）、末日聖徒キリスト教会（モルモン教）などとは違い、聖書そのものを学ぶキリスト教会です。尚、これらの団体でお悩みの方、違いをお知りになりたい方は、是非ご連絡下さい。